

2026.8.25～8.26

デジタル林業展開支援事業 現地ワークショップ in 群馬

群馬県森林組合系統の木材販売流通機能強化に向けたクラウドシステムの活用について報告がありました。

この中でも渋川広域森林組合はスマホアプリ木材検収システムによるデジタル検収データのクラウドシステム木材 SCM システムでの読み込み作業について、デモンストレーションしました。



今回のワークショップはデジタルツールによる木材サプライチェーン管理の実践事例紹介として日本森林技術協会が企画されたもので、長崎県や徳島県、鳥取県など遠方を含む 7 県の県庁や森林組合系統の関係者が参加されました。



2 日目は会場を前橋駅前のアクエル前橋会議室に移し、それぞれの地域における林業木材産業の現状や課題を整理し、課題解決のためのデジタルツール活用等をグループワークで意見交換し、もどってからのアクションプランを発表しました。まず初めのグループでは、それぞれの地域についての説明と質疑、次にグループの一人だけ残し他の人達は他グループに出向き、そこで議論された内容を共有しコメントし、再び元のグループにもどり他グループでの議論内容を報告、最初のグループでのそれぞれの課題解決策に参考とするワールドカフェスタイルに取り組みました。

サポートセンター業務のひとつとして、これから市町村担当者研修を数回企画運営しますが、研修参加者が受け身でなく能動的に主体性をもって議論し、その成果を具体的な実践に繋げようとする、このスタイルは大いに参考になりました。

サポートセンターとしても市町村森林経営管理業務におけるデジタル林業技術活用を紹介し、普及につとめていきたいと思ひます。

